

平成 18 年
8 月 31 日

病害虫発生予報 9 月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

5月29日から全ての農作物に残留農薬基準が設定されました！！

薬剤散布の際は周囲への飛散に十分注意しましょう

< 目 次 >

・ 今月の予報

【注意すべき病害虫】

ダイズ：紫斑病，カメムシ類	1
サツマイモ：ナカジロシタバ	1
果樹共通：果樹カメムシ類	2
抑制トマト：タバココナジラミ類	2
アブラナ科野菜共通：ハイマダラノメイガ	3
共通害虫：オオタバコガ，ハスモンヨトウ	3

【その他の病害虫】	4
ダイズ，ナシ，ブドウ，カキ，クリ，秋冬ネギ，秋冬ハクサイ，冬レタス，夏秋ナス， 抑制トマト，抑制キュウリ，抑制ピーマン	

・ 病害虫ミニ情報

ハスモンヨトウの薬剤感受性について	7
農薬登録速報(7月)の概要	8

・ 今月の気象予報	12
-----------	----

・ テレホンサービス	12
------------	----

029(226)5321, 6131

本文に記載された農薬の登録内容は，平成 18 年 8 月 28 日現在のものです。
農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用基準，注意事項等を確認してください。

詳しくは，病害虫防除所へお問い合わせ下さい。
茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445
予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・今月の予報
【注意すべき病害虫】

ダイズ

1. 紫斑病
[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
-	平年並	県下全域

[予報の根拠]

8月中旬は平年に比べ曇りや雨の日が多かったが、気象予報によると向こう1か月の降水量は平年より少ないと予想されている。

[防除上注意すべき事項]

開花期以降から成熟期までに連続した降雨があると発生が多くなるので注意する。防除の際は、着莢部に十分薬液がかかるように丁寧に散布する。

県内では、チオファネートメチル剤（トップジンM）に対する耐性菌の発生が確認されているため、防除を実施する際は、チオファネートメチル剤以外の薬剤を使用する。また、新たな薬剤耐性菌の出現を回避するため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。明きよを点検し、排水対策に努める。

2. カメムシ類
[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
やや遅い	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

8月下旬現在、平年並の発生であるが、ダイズの生育が遅れているためカメムシ類の圃場への侵入も遅れている。

気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されており、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

防除適期は、莢伸長期から子実肥大中期頃であるが、莢が黄熟する頃まで加害するため、防除適期以降でも発生の多い圃場では、収穫前日数に注意し防除を行う。

成虫だけでなく幼虫も加害するため、幼虫の発生状況にも注意する。

防除の際は、莢まで薬液がかかるように丁寧に散布する。特に、圃場の周縁部はカメムシ類の生息密度が高い傾向にあるため、散布は丁寧にを行う。

サツマイモ

1. ナカジロシタバ
[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

(サツマイモ ナカジロシタバ 続き)

[予報の根拠]

8月下旬現在，被害葉率は平年並で，発生地点率は平年より高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

防除効果が高い幼虫発生初期（つる先や上位葉に指先ほどの穴が開いた食害痕が点々と認められる時期）の防除に努める。また，薬剤散布の際は，幼虫が生息する葉裏までかかるよう丁寧に行う。

果樹共通

1．果樹カメムシ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	多い	県下全域

[予報の根拠]

8月下旬現在，ナシ及びカキにおける被害果率，発生地点率はともに平年より高い。

8月下旬現在，チャバネアオカメムシの予察灯（かすみがうら市，笠間市）への誘殺数は，平年より多い。

[防除上注意すべき事項]

圃場内をよく観察し，カメムシ類が飛来した場合は，収穫前日数に注意して直ちに防除を行う。

薬剤散布は，カメムシ類の活動が鈍い早朝に行う。

抑制トマト

1．タバココナジラミ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	多い	県下全域

[予報の根拠]

8月下旬現在，寄生葉率，発生地点率とも平年より高い。

気象予報によると，向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され，ハウス内は発生を助長する温度条件になる。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると，防除が困難となる。また，本種により果実の着色異常が引き起こされるため，発生したハウスでは防除を徹底する。

薬剤散布は，葉裏にも十分かかるよう丁寧に行う。

アブラナ科野菜共通

1. ハイマダラノメイガ

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	やや多い～多い	県下全域

[予報の根拠]

8月下旬現在、笠間市の誘致植物(クレオメ)における寄生株率は、過去3年間で最も高く推移している。

8月下旬現在、那珂市のキャベツで幼虫の発生を確認している。

気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

本虫は、アブラナ科野菜の育苗期や本圃の初期に、幼虫が生長点付近を加害する。幼苗期に加害されると芯止まりになるので、早期発見、早期防除に努める。

苗床は、防虫ネット等で覆い、成虫の侵入を防ぐ。

(平成18年8月10日発表の病害虫情報No.5参照)

共通害虫

1. オオタバコガ

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

8月下旬現在、フェロモントラップ(水戸市、坂東市)への誘殺数は平年並である。

8月下旬現在、トマトにおける発生量は平年並である。また、ダイズ及びナスでも幼虫の発生を確認している。

気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

圃場をよく観察し、幼虫の早期発見に努める。齢期が進むにしたがって薬剤の効果は低くなり、中齢幼虫になると果実や結球内に食入するため、食入前の若齢幼虫のうちに防除を徹底する。

薬剤散布は、葉裏や株元にも薬液がかかるように丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、同一系統の薬剤は連用しない。

施設栽培では、出入り口や開口部に防虫ネットを張り、成虫の侵入防止に努める。

2. ハスモンヨトウ

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	平年並	県下全域

(共通害虫 ハスモンヨトウ 続き)

[予報の根拠]

8月下旬現在，ダイズおよびサツマイモでは平年並の発生である。

8月下旬現在，フェロモントラップへの誘殺数は平年並からやや少なく推移している。

気象予報によると，向こう1か月の気温は平年並か高いと予想され，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

老齢幼虫になると，薬剤が効きにくくなるため，圃場をよく見回り，若齢幼虫のうちに防除を行う。ダイズでは白変葉の発生が防除の目安となる。また，レタスやハクサイでは結球前の防除が特に重要である。

薬剤散布は，葉裏や株元にも薬液がかかるように丁寧に行う。また，薬剤抵抗性の発達を抑えるために，同一系統の薬剤は連用しない。

施設栽培では，出入り口や開口部に防虫ネットを張り，成虫の侵入防止に努める。

病虫害ミニ情報(p.7～8)参照

薬剤散布の際は，周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意して行うこと。

【その他の病虫害】

作物	病虫害名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
ダイズ	鱗翅目幼虫	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。
	ダイズサヤタマバエ	発生量：やや多い	開花期が遅いと発生が多くなるので，莢伸長期の防除を徹底する。
	べと病	発生時期：やや遅い 発生量：平年並	8月下旬現在，納豆小粒で発生が見られ，平年よりやや少ない発生である。
ナシ	黒星病	発生量：平年並	8月下旬現在，発病果率は平年並である。発病の多かった園では，収穫後の防除を徹底する。
	シンクイムシ類	発生量：やや多い	8月下旬現在，被害果率は平年並である。フェロモントラップ(笠間市)への誘殺数は平年より多い。新高等，晩生品種への被害を防ぐため，被害果は放置せず，土中深く埋めるなど速やかに処分する。
	ナシチビガ	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。発生の多かった園では，収穫後の防除を徹底する。

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
ブドウ (露地巨峰)	べと病	-	8月下旬現在, 平年より多い発生である。発病の多かった園では, 収穫後の防除を徹底する。
カキ	炭そ病	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
クリ	炭そ病 (実炭そ病)	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
	モモノゴマダ ラノメイガ	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
秋冬ネギ	黒斑病	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。台風等により, 葉に傷が生じると発生が助長されるので, 防除を徹底する。
	ネギアザミウマ	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
	ネギハモグリバエ	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
秋冬ハクサイ	軟腐病	-	強い風雨により発生が助長されるので, 台風等による風雨を受けた場合は, 防除を徹底する。
	べと病	発生量: 平年並 ~ やや少ない	気象予報によると, 向こう1か月の降水量は平年より少ないと予想される。発生初期の防除を徹底する。
冬レタス	菌核病	-	前年発生した圃場では特に注意し, 発生初期の防除を徹底する。
夏秋ナス	うどんこ病	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
	ハダニ類	発生量: やや多い	8月下旬現在, 平年よりやや多い発生である。
	アザミウマ類	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。
	マメハモグリバエ	発生量: 平年並	8月下旬現在, 平年並の発生である。

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
抑制トマト	葉かび病	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。
	オンシツコナジラミ	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。9月は，気温の低下に伴い，ハウス内は発生に適した温度条件になる。
	ミカンキロアザミウマ	発生量：やや多い	8月下旬現在，平年よりやや多い発生である。
抑制キュウリ	べと病	発生量：平年並	8月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。例年9月は発生が見られるので注意する。
	褐斑病	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。
	タバココナジラミ類	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。葉に白化症状を引き起こすため，防除を徹底する。
	アザミウマ類	発生量：やや少ない	8月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。
抑制ピーマン	うどんこ病	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。
	斑点病	発生量：平年並	8月下旬現在，平年並の発生である。
	タバココナジラミ類	-	8月下旬現在，幼虫及び成虫の発生を認めた。果実にすす症状を引き起こすため，防除を徹底する。
	アザミウマ類	発生量：平年並	8月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。9月は発生に適した条件になるので注意する。
	タバコガ	発生量：やや少ない	8月下旬現在，平年よりやや少ない発生である。フェロモントラップ(神栖市)への誘殺数は，平年よりやや少ない。

ハスモンヨトウの薬剤感受性について

ハスモンヨトウは、野菜（キャベツ，ナス，ハクサイ等），畑作物（ダイズ，ソバ等），花き（トルコギキョウ等）など広範囲の作物を食害します。また，薬剤の殺虫効果が低下しやすい害虫であり，すでに多くの薬剤に対して抵抗性の発達した個体が発生しています。そこで，主要な薬剤の殺虫効果を確認するため，葉片浸漬法により，薬剤に対する感受性を検定しました。なお，検定には3齢及び5齢幼虫を用いました。

【結果の概要】

- (1) コテツフロアブルの補正死虫率は，3齢幼虫は全地点で100%，5齢幼虫は1地点で75%に低下したものの他の4地点は100%となり，高い殺虫効果が認められました。
- (2) アファーム乳剤（1,000倍）の補正死虫率は，3齢幼虫は97～100%，5齢幼虫は3地点で3齢より低下したものの83～100%（平均93%）となり，高い殺虫効果が認められました。
- (3) プレオフロアブルの補正死虫率は，3齢幼虫は93～100%，5齢幼虫は86～100%（平均97%）となり，高い殺虫効果が認められました。
- (4) ノーモルト乳剤の補正死虫率は，3齢幼虫は87～100%（平均95%），5齢幼虫は41～79%（平均54%）となり，3齢幼虫では高い殺虫効果が認められましたが，5齢になると安定した効果は認められませんでした。
- (5) エルサン乳剤，トレボン乳剤，ラービンフロアブル，フローバックDF，トルネードフロアブルの補正死虫率は，3齢・5齢幼虫とも地点によって補正死虫率が低い等，殺虫効果にばらつきが認められました。

表1 各種薬剤に対するハスモンヨトウ3齢及び5齢幼虫の薬剤感受性

系 統 名	薬 剤 名	希 釈 倍 数	齢 期	補 正 死 虫 率 (%)				
				地 点	地 点	地 点	地 点	地 点
有機リン系剤	エルサン乳剤	1,000倍	3 齢	44	93	93	36	19
			5 齢	11	100	64	75	26
合成ピレスロイド剤	トレボン乳剤	1,000倍	3 齢	0	100	10	0	4
			5 齢	19	97	32	36	19
カーバメート系剤	ラービンフロアブル	1,000倍	3 齢	75	48	97	100	28
			5 齢	52	15	93	100	0
BT剤	フローバックDF	1,000倍	3 齢	100	87	50	86	33
			5 齢	40	34	55	88	25
IGR剤	ノーモルト乳剤	2,000倍	3 齢	93	87	93	100	100
			5 齢	79	41	44	61	46
その他	トルネードフロアブル	2,000倍	3 齢	28	100	87	100	35
			5 齢	31	100	97	93	38
	アファーム乳剤	1,000倍	3 齢	100	97	100	100	100
			5 齢	100	83	90	100	90
	コテツフロアブル	2,000倍	3 齢	100	97	68	100	100
			5 齢	100	75	89	100	79
	プレオフロアブル	1,000倍	3 齢	100	100	100	100	100
			5 齢	100	100	100	93	100

1) 数値は，処理後2日（IGR剤，BT剤は5日）の補正死虫率である。

2) 補正死虫率（%）＝{（対照区生存虫率－処理区生存虫率）／対照区生存虫率}×100

3) 苦悶虫は死虫とした。

【防除上の注意点】

- (1) ハスモンヨトウ幼虫は、齢期が進むにしたがって、薬剤に対する感受性が低下する傾向があるため、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、同一系統の薬剤を連用せず、ローテーション散布を行ってください。
- (2) IGR 剤や BT 剤は若齢幼虫には有効です。老齢幼虫が発生の主体である場合は、IGR 剤や BT 剤以外の薬剤を選択してください。
- (3) ハスモンヨトウの薬剤感受性は圃場によって異なるため、薬剤散布後には効果の確認を行い、効果が劣る場合は、その後の防除では系統の異なる薬剤を選択してください。
- (4) 薬剤防除を行う際は、作物ごとに農薬登録の有無を確認し、農薬ラベルに記載の使用基準、注意事項等を守ってください。

農薬登録速報（7月）の概要

平成18年7月期間中（7/1～7/31）に新規・変更登録のあった農薬は、以下のとおりです。なお、農薬の使用にあたっては、必ずラベル等を確認してください。

殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・殺そ剤等

新規> BASFアチーブMC, STシラトップEW, STゼンターリ顆粒水和剤, STチップイン水和剤, STパダンバッサ粉剤DL, STビームエイトトレボンゾル, STビームスミバッサ粉剤3DL, STビーム粉剤DL, アチーブMC, オルトランDX粒剤, ホクコーラブモンガードジョーカーフロアブル, ムシキン液剤AL, ラブガード水和剤, 協友スターナ水和剤, 野菜類種子消毒用ドイツボルドーA

変更> ACCノーモルト乳剤, DASソイリーン, DC油剤, D-D92, FMCアドバンテージS粒剤, ICIビリーブ水和剤, SDSシトラノフロアブル, SDSドーシャスフロアブル, SDSプラタンフロアブル, STDDVP乳剤, STダコソイル, STダコニール粉剤, STロブラール500アクア, アクタラ顆粒水溶剤, アグロスリン乳剤, アディオン乳剤, アドマイヤー1粒剤, アドマイヤーフロアブル, アドマイヤー顆粒水和剤, アファーム乳剤, アブロードフロアブル, アミスター10フロアブル, アミスター20フロアブル, アミスターオブティフロアブル, アルバリン粒剤, アルバリン顆粒水溶剤, エムダイファー水和剤, オルトラン水和剤, オンコルマイクロカプセル, オンコル粒剤5, ガードベイトA, カスケード乳剤, カスミンボルドー, カダンV, カッパーシン水和剤, カネマイトフロアブル, カルホス微粒剤F, カルホス粉剤, カンタスドライフロアブル, キルパー, キンセツ水和剤80, クミアイDDVP乳剤50, クミアイアグロスリン乳剤, クミアイアタックオイル, クミアイアドマイヤー1粒剤, クミアイアドマイヤーフロアブル, クミアイアドマイヤー顆粒水和剤, クミアイガスタード微粒剤, クミアイコテツフロアブル, クミアイスピノエース顆粒水和剤, クミアイミチオン乳剤, クミアイダイアジノン粒剤5, クミアイダコソイル, クミアイダコニール1000, クミアイダコレート水和剤, クミアイトップジンM水和剤, クミアイトレボン乳剤, クミアイノーモルト乳剤, クミアイピラニカ水和剤, クミアイベルコート水和剤, クミアイペンコゼブフロアブル, クミアイペンコゼブ水和剤,

クミアイマブリック水和剤 20 , グリーンダイセンM水和剤 ,
グリーンペンコゼブ水和剤 , クレハDDVP 50%乳剤 ,
コテツフロアブル , コロソ粒剤 , コロマイト乳剤 , コンフューザーMM ,
サンケイDDVP乳剤 50 , サンケイアディオン乳剤 , サンケイエムダイファー水和剤 ,
サンケイジメトエート乳剤 , サンケイスマチオン乳剤 ,
サンケイダイアジノン粒剤 5 , サンケイテロン 92 ,
サンケイトレボン乳剤 , サンケイバリダシン液剤 5 ,
サンケイベルコート水和剤 , シトラーノフロアブル ,
ジマンダイセンDF , ジマンダイセン水和剤 , ショウスター ,
シンジェンタ・トレボン乳剤 , スコア顆粒水和剤 ,
スタークル粒剤 , スタークル顆粒水溶剤 , ストロビーフロアブル ,
スピノエースフロアブル , スピノエース顆粒水和剤 , スポルタック乳剤 ,
セイビアーフロアブル 20 , セル苗元気 , ソイリーン , ダーズバンDF ,
ダイアジノン粒剤 5 , ダイブフロアブル , ダコソイル , ダコニール 1000 ,
ダコニール 46くん煙顆粒 , ダコニールエース , ダコニールくん煙剤 ,
ダコニール粉剤 , ダコニール顆粒水和剤 , タチガレン液剤 ,
ダニエモンフロアブル , ダニメツフロアブル , タフバリアフロアブル ,
タフバリア粒剤 0.5 , ダントツ水溶剤 , ディ・トラベックス油剤 ,
デス , テロン 92 , ドーシャスフロアブル , トップジンM水和剤 ,
トリガード液剤 , トリフミン水和剤 , トレボンスカイMC ,
トレボン乳剤 , ニツラン水和剤 , ネビジン粉剤 , バイオセーフ ,
バイデートL粒剤 , バイレトン水和剤 5 , バスアミド微粒剤 ,
パダンSG水溶剤 , ハチハチ乳剤 , バリアード顆粒水和剤 ,
バリダシン液剤 5 , ピラニカ水和剤 , ビリーブ水和剤 ,
フォリオブラボ顆粒水和剤 , プリザード水和剤 , ブルースカイ粒剤 ,
フルピカフロアブル , ベストガード水溶剤 , ベルコート水和剤 ,
ベンレートT水和剤 20 , ベンレート水和剤 , ホクコーDDVP乳剤 50 ,
ホクコーアディオン乳剤 , ホクコーエルサン乳剤 ,
ホクコーオルトラン水和剤 , ホクコーガスタード微粒剤 ,
ホクコーゲッター水和剤 , ホクコージメトエート乳剤 ,
ホクコースタークル粒剤 , ホクコースタークル顆粒水溶剤 ,
ホクコースミチオン乳剤 , ホクコーダイアジノン粒剤 5 ,
ホクコートップジンM水和剤 , ホクコーノーモルト乳剤 ,
ホクコーバリダシン液剤 5 , ホクコーリゾレックス水和剤 ,
ホクコーロムダンフロアブル , ホライズンドライフロアブル ,
マイトクリーン , マイトコーネくん煙剤 , マイトコーネフロアブル ,
マブリック水和剤 20 , マラバッサ乳剤 , モスピラン・トップジンMスプレー ,
モスピランジェット , モスピランスプレー , モスピラン液剤 ,
モスピラン水溶剤 , モスピラン粒剤 , ヤシマDDVP乳剤 50 ,
ヤシマアディオン乳剤 , ヤシマアドマイヤー 1粒剤 ,
ヤシマゲッター水和剤 , ヤシマコテツフロアブル ,
ヤシマスポルタック乳剤 , ヤシマスマチオン乳剤 ,
ヤシマダイアジノン粒剤 5 , ヤシマトップジンM水和剤 ,
ヤシマトリフミン水和剤 , ヤシマノーモルト乳剤 , ヤシマピラニカ水和剤 ,
ヤシマベルコート水和剤 , ヤシママブリック水和剤 20 ,
ヤシマモレスタン水和剤 , ヤシマロブラール 500アクア ,
ヤシマロブラール水和剤 , ヨネポン水和剤 , ラービフロアブル ,
ラピック , ラリー乳剤 , ランネート 45DF , リゾレックス水和剤 ,
リドミルMZ水和剤 , リドミル銅水和剤 , リドミル粒剤 2 ,

リラークDF，ローヌ・ブーランプラタンフロアブル，
ロブラール500アクア，ロブラール水和剤，ロムダンフロアブル，
旭D-D92，一農DDVP乳剤50，家庭園芸用オルトラン粒剤，
協友ベストガード水溶剤，金鳥アディオオン乳剤，金鳥スミチオン乳剤，
兼商モレスタン水和剤，細井硫黄粒剤，三井ソイリーン，
三井東圧アルバリン粒剤，三井東圧アルバリン顆粒水溶剤，
三共アタブロン乳剤，三共アディオオン乳剤，三共アドマイヤー顆粒水和剤，
三共グリーンペンコゼブ水和剤，三共スミチオン乳剤，
三共ダイアジノン粒剤5，三共トレボン乳剤，三共バリアード顆粒水和剤，
三共フロンサイド水和剤，三共ベルコート水和剤，
三共ペンコゼブフロアブル，三共ペンコゼブ水和剤，三光硫黄粒剤，
三菱ハチハチ乳剤，住化ゲッター水和剤，住化ジメトエート乳剤，
住化スミチオン乳剤，昭和ダコレート水和剤，
新富士モスピランジェット，石原アオバ液剤，石原アタブロン乳剤，
石原アドバンテージS粒剤，石原トリフミン水和剤，
石原ネマトリンエース粒剤，石原フロンサイド水和剤，
東北グリーンエムダイファー水和剤，日産エルサン乳剤，
日産ストロビーフロアブル，日産スピノエース顆粒水和剤，
日産スポルタック乳剤，日産スミチオン乳剤，日産ダイアジノン粒剤5，
日産トレボン乳剤，日産プラタンフロアブル，
日産ホライズンドライフロアブル，日産ロブラール500アクア，
日産ロブラール水和剤，日曹カンタスドライフロアブル，
日曹ゲッター水和剤，日曹コテツフロアブル，日曹ストロビーフロアブル，
日曹ピラニカ水和剤，日曹フロンサイド水和剤，日曹ホスピット乳剤，
日農DDVP乳剤，日農アクテリック乳剤，日農アグロスリン乳剤，
日農エルサン乳剤，日農スミチオン乳剤，日農ダイアジノン粒剤5，
日農トップジンM水和剤，日農ノーモルト乳剤，日農ブリザード水和剤，
日農モスピラン水溶剤，日農モスピラン粒剤，日農リドミル銅水和剤，
日農ロムダンフロアブル，武田DDVP乳剤，武田アクテリック乳剤，
武田オルトラン水和剤，武田ダコソイル，武田ダコニール1000，
武田ダコニール粉剤，武田ダコレート水和剤，
武田ロブラール500アクア，有機リドミルMZ水和剤，
理研スミチオン乳剤

除草剤等

新規>キレイジャン粒剤，グリホキングシャワー，ビシット粒剤17，
ホクコービシット粒剤17，日農ビシット粒剤17
変更>DASTレディワイド1キロ粒剤，JATレディプラス1キロ粒剤，
JATレディプラス顆粒，JATレディワイド1キロ粒剤，
SDSオークスフロアブル，SDSテラガードLフロアブル，
STトレファノサイド乳剤，STハービー液剤，アークエース粒剤，
アクチノール乳剤，オークスフロアブル，クサトリ-DX1キロ粒剤H75，
クミアイサキドリ1キロ粒剤，クミアイスマートフロアブル，
クミアイナブ乳剤，クレマート乳剤，ゴーゴーサン乳剤30，
コダール水和剤，サキドリ1キロ粒剤，サンケイクレマートU粒剤，
サンケイクレマート乳剤，サンサールジャンボ，
シリウスターボ1キロ粒剤，スパークスター1キロ粒剤，
スマートフロアブル，タスクDF，ダブルスターSBジャンボ，
チバガイギー・スパークスター1キロ粒剤，デュアール乳剤，

デュポン トップガン250グラム,デュポン トップガンL250グラム,
デュポン パワーウルフ1キロ粒剤51,デュポン パワーウルフ1キロ粒剤75,
デュボントップガンGT1キロ粒剤51,デュボントップガンGT1キロ粒剤75,
デュボントップガンLジャンボ,デュボンロックス,テラガードLフロアブル,
トップガン250グラム,トップガンGT1キロ粒剤51,
トップガンGT1キロ粒剤75,トップガンL250グラム,
トップガンLジャンボ,トレディプラス1キロ粒剤,
トレディプラス顆粒,トレディワイド1キロ粒剤,トレファノサイド乳剤,
トレファノサイド粒剤2.5,ナブ乳剤,ノミニー液剤,ハービー液剤,
バイエルイノーバDXアップ1キロ粒剤75,
バイエルスマートフロアブル,バイエルダブルスターSBジャンボ,
バスタ液剤,パワーウルフ1キロ粒剤51,
パワーウルフ1キロ粒剤75,ヒエクリーン1キロ粒剤,
プラントプラス,プリグロックスL,ホクコークレマートU粒剤,
ホクコークレマート乳剤,ホクコーナブ乳剤,ホクコーハービー液剤,
マイゼット,モゲトンジャンボ,モゲトン粒剤,モゲブロン粒剤,
モンサントラッソー乳剤,ヤシマナブ乳剤,ラッソー乳剤,
リボルバーエース1キロ粒剤,ワンサイドP乳剤,
ワンステージ1キロ粒剤,科研トップガン250グラム,
科研トップガンGT1キロ粒剤51,科研トップガンGT1キロ粒剤75
科研トップガンL250グラム,科研トップガンLジャンボ,
三共クサトリードX1キロ粒剤H75,住化クレマートU粒剤,
石原タスクDF,日産ラッソー乳剤,日曹アクチノール乳剤,
日農クレマートU粒剤,日農クレマート乳剤,日農バスタ液剤,
日農ラッソー乳剤,武田トレファノサイド乳剤,武田ハービー液剤

植調剤等

変更>「アブロン」,STジベラ錠,STジベラ錠5,
ジベレリン協和ペースト,ジベレリン協和液剤,ジベレリン協和錠剤,
ジベレリン協和粉末,ジベレリン明治,ジベレリン明治液剤,
ジベレリン明治錠剤,ヒット 10,ヒット 13,プリモマックス液剤,
マデックEW,石原トマトトーン,日産トマトトーン,武田ジベラ錠,
武田ジベラ錠5

失効農薬

キノリントップ,キングカイトン,サンキングA,シマジン,ナツマシン,
フルーツドウ,ヤシマラブサイドスミマラバッサ粉剤DL,
リーダル粒剤,理研レルダン乳剤25

農薬の登録失効は,同一成分の農薬においても販売メーカー毎になりますので,ご注意願います。

．今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 8月26日から9月25日)

気象庁(8月25日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	20	40	40
降水量	関東甲信全域	50	30	20
日照時間	関東甲信全域	20	40	40

[概要]

天気は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高いでしょう。降水量は少ないでしょう。日照時間は平年並か多いでしょう。

< 1週目の予報 > 8月26日(土曜日)から9月1日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並

< 2週目の予報 > 9月2日(土曜日)から9月8日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並

< 3週目から4週目の予報 > 9月9日(土曜日)から9月22日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い

．テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号：029(226)5321, 6131

9月上旬 施設野菜病害虫の発生現況と防除対策について

9月中旬 果樹病害虫の秋季防除について

9月下旬 施設野菜および露地野菜の発生現況と防除対策について

10月上旬 ムギの種子消毒と縞萎縮病対策について

平成19年度茨城県立農業大学校学生募集

募集人員等

	科名	募集人員	受験資格	修業年限	専攻コース
学 科	農学科	20名	高校等を卒業した者及び平成19年3月に卒業又は修了見込みの者	2年	水田, 畑作
	畜産学科	10		2年	酪農, 養豚
	経営情報学科	10		2年	
	果樹園芸学科	10		2年	
	野菜園芸学科	20		2年	
	花き園芸学科	10		2年	
研究科		10	農業系短大卒以上	2年	作物・園芸・畜産

願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (学科)	平成18年10月2日(月)～10月17日(火)	平成18年10月27日(金)	小論文 口述試験 (個別面接)
一般入試 (学科)	前期 平成18年12月18日(月)～平成19年1月17日(水)	平成19年1月31日(水)	筆記試験 口述試験 (個別面接)
	後期 平成19年2月7日(水)～平成19年2月26日(月)	平成19年3月6日(火)	
研究科 一般入試	平成18年10月2日(月)～10月17日(火)	平成18年10月27日(金)	筆記試験 口述試験 (個別面接)

問い合わせ先 〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡 4070-186

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL029-292-0010